

下水道耐震2025指針(ボックス横方向)

土木・建築設計計算 SUCCES

液状化における浮上判定も可能/下水道耐震2025指针对応

公益社団法人 日本下水道協会「下水道施設の耐震対策指針と解説 2025年版」および「下水道施設耐震計算例」(2015年版)に準拠し、現場打ち、PC・RCプレキャストボックスカルバートの横方向の耐震計算を行います。液状化の判定と浮上がりの計算にも対応。

また、下水道耐震2025指針(ボックス縦方向)と構造寸法、地盤条件などの共通データを共有して利用できます。

製品特長

プログラムの詳細

- レベル1地震動は許容応力度法により、レベル2地震動は限界状態設計法により照査を行います。
- 現場打ちボックスカルバート・PCプレキャストボックスカルバート・RCプレキャストボックスカルバートに対応しています。
- 一連一層、二連一層、一連二層の断面形状に対応しています。
- 各部材について、部材両端と中央位置での配筋が指定できます。
- 任意荷重の指定が可能です。
- 断面寸法、配筋、コンクリート材料、鉄筋材料の各データは、登録データを参照することによってデータの作成が行えます。また、データは追加、変更を行うことができます。
- 『下水道耐震2025指針(ボックス縦方向)』〔別契約〕と、構造寸法、地盤条件等のデータを共有することができます。
- 配筋組立図の作図が可能です。

画面例

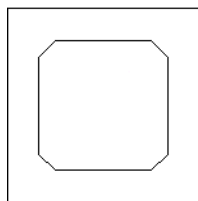


システムの適応範囲

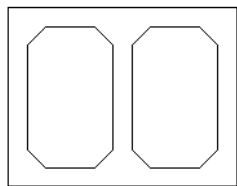
▶ 対応構造形式

形式

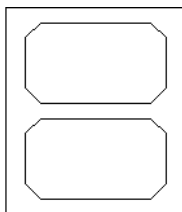
- ・1連1層、2連1層、1連2層



1連1層



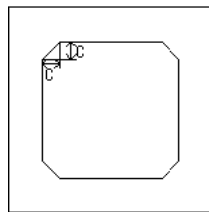
2連1層



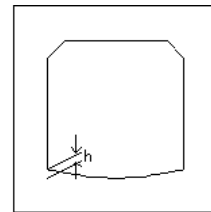
1連2層

形状

- ・標準形、インバート形



標準形 (C: ハンチ高)



インバート形 (h: インバート高)

▶ 参考図書

公益社団法人日本下水道協会 「下水道施設の耐震対策指針と解説 2025年版」

公益社団法人日本下水道協会 「下水道施設耐震計算例」 (2015年版)

動作環境

※必要メモリ等はシステム環境によって異なる場合がありますのでご注意ください。

OS

Microsoft Windows 11

※Windows動作保証の最新情報は[こちら](#)

ハードディスク

OSのシステム要件を満たし、問題なく動作する環境

メモリ

OSのシステム要件を満たし、問題なく動作する環境

ディスプレイ

1280×1024以上が表示可能なもの